

# 高き志【にころざし】

## 「この学校でよかった」を基盤に…

先日、今年度の熊本県学力・学習状況調査結果が学校に送られてきました。12月に実施したもので、3年生以上の国語・算数の学力に加え、学習状況も含めた調査でした。

結果はというと…残念ですが学校としての学力結果は芳しいものではありませんでした。個人や学年によって違いはありますが、学校全体としては、国語・算数ともに県平均を下回る状況でした。日頃から、「授業を改善すること」…「子供たちが『分かった』『できた』と感ずることができるような授業にしていこう」と中心に学力向上に努めてきたのですが、その成果が十分には表れなかったということです。また、「凡事徹底（あたりまえをあたりまえに）」も、学力向上を支える取組として継続的に推進してきましたが、こちらも結果にはつながらなかったということになります。子供たちの学力の結果は、私たち教師の指導の結果でもあります。（3年生以上の個人結果につきましては、今週末配付予定です）

この結果を真摯に受け止め、学校としての対策を以下のように決定しました。

- ① 授業改善…モデルとなる授業の形を全員で確認し合い、毎時間の授業を充実させる。
- ② 3学期に取り組む学力充実対策を共通理解
  - (1) 御船版「熊本の学び」を共通実践する。（詳しい内容は紙面が足りませんので割愛します）
  - (2) 学習内容の確実な完全履修（できるだけ早めに）
  - (3) 基礎基本の徹底（漢字・計算、朝自習の共通化と徹底）
  - (4) 予習・復習（家庭学習充実週間を月1回・その中の自主学習として）
  - (5) 授業充実の基盤確立（授業時間を守る、忘れ物なし、返事、聞く姿勢、丁寧な文字等）
- ③ 放課後学習タイムの設定（毎週金曜日の放課後に個別のドリル学習時間を設定  
今回の学力調査結果に付随している「個人別復習プリント」や「弱点克服ドリル」等に  
取り組む、複数体制で対応する）

今年度の残された時間は多くありませんが、これらの取組をしっかりと推進していきます。

加えて、学力結果に学習状況も加えた考察によると、「規範意識」や「学習習慣」と「学力結果」に相関関係があると示されています。これは上記「凡事徹底」の部分と重なるものと考えられます。「あたりまえのことがあたりまえにできる」ことが「学力向上」を支えることは間違いのないようです。この面では、ご家庭と足並みを揃えた取組が重要だと思います。今週は家庭学習充実週間でもあります。学校での取組にご理解いただくとともに、ご家庭でのご支援・ご協力をお願いいたします。

とはいえ、本校には明るい希望もあるのです。今週四日間が過ぎましたが、そのうち三日間は一人の欠席者もないのです。さらに、今年度今日までの授業日数171日のうち88日が無欠席です。割合にすると51.5%にもなります。郡内では不登校児童生徒が増加している現実がある中、本校は不登校児童はもちろん、不登校傾向の児童もいないのです。また、昨年末行ったアンケートでは「この学校の児童でよかったと思うか」との問いに、約8割の児童が「よかった」と答え、肯定的な回答は100%でした。（よかった79%、どちらかと言えば21%）

この状況は、「学力向上」と、それを支える「凡事徹底（あたりまえをあたりまえに）」、この二つをさらに下支えする基盤がしっかりと確立できている状況だと考えます。「高木小でよかった。毎日学校が楽しい。」そんな子供たちを、ご家庭や地域とともに育てることができている自負を持ち、そんな毎日を大切にしながら、「学力向上」という結果にもつなげていこうと、全職員で再確認する機会になりました。